

YA…Young Adult【ヤングアダルト】の略で、  
12才～19才くらいの人たちをさす言葉

# YAだより

Vol.32  
令和7（2025）年5月発行  
船橋市東図書館



## 特集 「どうぶつ？といっしょ」

実在する動物、空想上の動物（？）、例えとしての動物…。  
本を通して、いろんな動物に会いに行ってみよう！ 📖 🐾

## 特集

「どうぶつ?といっしょ」  
ここで紹介した本は  
2階参考室前「YA展示」に  
置いてあります



『ギュスターヴくんと  
まぼろしのどうぶつ』

ヒグチユウコ/著

白泉社

726.6/七



猫によく似た不思議な生きものギュスターヴくん一行は「なぞのどうぶつ」に会いに森へ出かけます。

この「なぞのどうぶつ」、もしかして実在するのか。生きた化石的な感じかしら…と思いながら読み進めていくと、奥付に真相が書かれていました。是非読んで確認してみてください 😊 😊

『ナカスイ！海なし県の水産高校』

村崎なぎこ/著

祥伝社

F/五



「海はなくとも、川があります。」栃木県立馬頭高校をモデルに、水産高校の生活を描く物語 🌊

コロナ禍での生活も映し出されており、その頃に学生時代を過ごした身として共感できるところもたくさんありつつ、淡水の生きものに詳しくなれました。ザリガニのグラタンコロッケ、シジミそうめん、ナマズせんべいなどなど、おいしそうなお料理と工夫された調理法、命をいただくことについて…色々な側面から描かれる青春、ぜひ体験してみてください 🍷

# 特集

## 「どうぶつ?といっしょ」

ここで紹介した本は  
2階参考室前「YA展示」に  
置いてあります



『5文字で四字熟語』  
すとうけんたろう/著・イラスト  
講談社こども教室/監修  
講談社  
814.4/7

以前紹介したこともある、すとうさんの5文字シリーズ、今回は四字熟語と故事成語です。「おなじみが出てくる四字熟語」「故事成語ゆかりの地マップ」など親しみを持ちつつ学べるコーナーもたくさんあり、いつものネコさんたちもたっぷり登場。マンガみたいに読めちゃいます🐱

『私の職場はサバンナです！』  
太田ゆか/著  
河出書房新社  
482.4/1



大人になればなるほど「仕事=いやなことをがんばる」というイメージが強くなってきたり…しちゃいますよね。でも、好きなことを仕事にできれば楽しそうだと思いますか。

この本を書いた太田さんの小さい頃の夢は獣医さんだったそうです。そこからなぜサファリガイドという職業に就いたのか、どんな道のりだったのか…。

夢を現実になりたいと思っている方に読んでほしい一冊です。現地の環境や生活、動物についてのコラムや写真も満載です



# 特集

## 「どうぶつ?とっしょ」

ここで紹介した本は  
2階参考室前「YA展示」に  
置いてあります



『クマはなぜ人里に出てきたのか』

永幡嘉之/文・写真

旬報社

489.5/円

違和感を無視しないこと、事実を自分の目で見えて確かめること、決めつけずに色々な可能性を考えること…。

クマと人間の関係を「怖い」だけで終わらせないための、生きものとしてのクマをより深く知るための、研究の記録です



『不思議の国のアリス』

ルイス・キャロル/著 河合祥一郎/訳 KADOKAWA 933/円

「あらすじやキャラクターは知っているけど、原作は読んだことがない」という人も多いのではないのでしょうか？

実はこの本、一章あたり10ページくらいの短いお話で構成されているので、移動中にもサクッと読めちゃいますよ📖

シェイクスピア研究家の河合祥一郎さんによる楽しい翻訳が光ります！

外国文学への入口にもいかがでしょう 🐾 🐇

# 特集 「どうぶつ?といっしょ」

ここで紹介した本は  
2階参考室前「YA展示」に  
置いてあります



『砂漠の旅ガラス』

長谷川まりる／作・絵 小学館 F/ハ



『小説 ふれる。』

原作/映画「ふれる。」 額田滯/著 KADOKAWA F/効

『ギブ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発』

大塚敦子/著 講談社 327.8/オ

『シートン ショートセレクション 森の物語』

アーネスト・トンプソン・シートン／作 今泉吉晴／訳  
ヨシタケシンスケ／絵 理論社 480.4/ウ

# 担当より

みなさんは最近何をして過ごしていますか？私はアニメを色々観ています。特によかったのが、会社員をしてる主人公の元へ次々にドラゴンがやってきて一緒に暮らすアニメ…一気に観しちゃいました👁️👁️👁️

会話のシーンがたくさんあったり、一人のためにみんなが力を合わせてくれちゃうような話が、個人的には好きかもしれません。主題歌の歌詞に作品名やキャラの名前が入ってたりすると、一気に「最高～」ってなっちゃいますね👍

他には「センザンコウ」という動物を初めて知りました。体は松ぼっくりのような硬いウロコで覆われており、危険を感じると丸まって身を守ること。なんと約8000年前から存在していた動物ということですが、革製品などの原料として乱獲が続き、数が減ってしまったんだそうです（現在はワシントン条約により国際取引が禁止されています）。動いている様子を映像で観たのですが、ドラゴンを彷彿とさせる見た目、ティラノサウルスのような前傾姿勢と歩き方…。何というか、私としてはもろもろかなりグッと来てしまい、フィギュアを購入しました。届いたら手のひらに乗せて、センザンコウに想いを馳せたいですね。図らずもドラゴンづいている(?)毎日です。

世の中には知らないことがたくさんありますね。なるべくたくさんものを見て、色々な視点を持って暮らしていけたらな～とったりします。

それではまた次号で🌻



YAだよりVol.32 令和7(2025)年5月発行  
船橋市東図書館 YA担当 ☎047(463)3611

X



HP



Facebook

